

作成日 2008年03月03日  
改訂日 2009年10月01日  
改訂日 2010年12月30日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ディプロテックス乳剤  
会社名 保土谷UPL株式会社  
住所 〒103-0027 東京都中央区日本橋三丁目14番5号  
担当部門 営業部  
電話番号 03-6225-3194 FAX番号 03-6225-3197  
メールアドレス hodogayaupl@hodogaya-upl.com  
緊急連絡先 保土谷UPL株式会社 営業部 電話番号 03-6225-3194  
整理番号 0202

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分4
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼損傷／眼刺激性	区分2A
	皮膚感作性	区分1
	生殖毒性	区分1B
	標的臓器・全身毒性 （単回暴露）	区分1（中枢神経系、視覚器、 全身毒性）
	区分3（気道刺激性、麻酔作用）	
	標的臓器・全身毒性 （反復暴露）	区分1（中枢神経系、視覚器）
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分1
	水生環境慢性有害性	区分2

\*記載がないものは、分類対象外または分類できない

GHS ラベル要素：

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報：引火性の高い液体及び蒸気

飲み込むと有害  
軽度の皮膚刺激  
重篤な眼への刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器（中枢神経系、視覚器、全身毒性）の障害  
呼吸刺激を起こすおそれ、または眠気やめまいのおそれ  
長期にわたるまたは反復暴露による臓器（中枢神経系、視覚器）の障害  
水生生物に非常に強い毒性  
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：

【予防策】

使用前に取扱い説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
容器を密閉しておくこと。  
火花・裸火のような高温の着火源になるものから遠ざけること。ー禁煙。  
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。  
容器を接地すること。アースをとること。  
防爆型の機器を使用すること。  
静電気対策に対する予防措置を講ずること。  
火災を発生しない工具を使用すること。  
取扱いの際には飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【対応】

環境への放出を避けること  
火災の場合には消火に適切な手段を使用すること。  
皮膚にかかった場合、直ちに汚染された衣服を脱ぎ、石鹼と流水で洗うこと。  
飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師の診断を受けること。口をすすぐこと。  
皮膚刺激または発疹が生じたときは医師の診断／手当てを受けること。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。  
取り扱った後、よく手を洗うこと。  
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。  
汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。  
暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。  
漏出物を回収すること。

【保管】

涼しく、換気のよい場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物・容器は自治体の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名および一般名	ジメチル-2, 2, 2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホネート (一般名：DEP、トリクロロホン)				
成分	DEP	メタノール	ポリリンエチレンニルフェニルエーテル	キシレングリコール	乳化剤等
含有量 (%)	50.0%	34.0%	5.5%	2%	10.5%
化学特製 (示性式)	$C_4H_8Cl_3O_4P$	$CH_3OH$	$C_9H_{19}C_6H_4O(C_2H_4O)_nH$	$C_6H_4O_2$	—
官報公示整理番号					
化審法	なし	(2)-201	7-172	(2)-240	—
安衛法	2-(3)-110		既存		—
CAS NO.	52-68-6	67-56-1	68412-54-4	107-41-5	—
化学物質管理促進法	第1種・225		第1種・410		—

#### 4. 応急措置

吸入した場合	: 被災者を速やかに空気の新鮮な場所に移動させる。異常が現れた場合には、直ちに医師の診療を受ける。
皮膚に付着した場合	: 汚染された着衣、靴等を速やかに脱がせ、付着部を多量の水と石鹼でよく洗浄する。洗浄後、異常がある場合は医師の診療を受ける。
眼に入った場合	: 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。眼球、眼瞼の隅々まで水がよく行き渡るように洗う。医師の診療を受ける。
飲み込んだ場合	: 口の中をすすぎ、多量の水を飲ませ、直ちに医療処置を受ける。吐かせてはならない(揮発性液体を含むので、吐かせるとかえって危険が増すことがある)。意識のない時は口から何も与えてはならない。
治療法	: 本剤は有機リン系農薬を含む製剤のため、治療法としては硫酸アトロピン製剤又はPAM製剤の投与が有効との報告がある。

#### 5. 火災時の措置

消火剤	: 粉末、泡沫、炭酸ガス、砂、水
消火方法	: 消火活動には適切な保護具(自給的呼吸保護具等)を着用する。加熱されることによって有害ガスが発生することがある。蒸気、煙等の吸入を避ける。消火水が下水や河川に流れ込まないよう適切な処置をとる。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 処理作業の際には保護具(保護衣、保護メガネ、保護マスク等)を着用し直接触れたり、ガスやミストを吸い込まないようにする。
環境に対する影響	: 漏出した物質や洗浄水が河川、下水、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作業に飛散しないよう注意する。
除去方法	: 漏出物は土、砂等に吸収させ、密閉容器に回収する。その後、汚染された場所を水で洗う。
二次被害の防止	: 付近の人を風上に避難させ、周辺にロープを張るなどして漏出現場への人の立ち入りを禁止する。風下では作業をしない。付近の着火源となるものは取り除く。

#### 7. 取扱及び保管上の注意

取扱い	: ラベルをよく読むこと。 局所的排気装置を設置し、換気のよい場所で取扱う。 適切な保護具を着用し、ガスやミストの吸入したり、眼、皮膚に触れないよう注意する。 容器を開封する時は内容物の吹き出し、飛散に注意する。着火源となるものの付近では取扱いをしてはならない。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。作業後
-----	---

は速やかに手足、顔等を石鹼でよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。

保管 : 容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管する。食物、飼料等と離し、無関係者、子供の手の届かない危険物・毒劇物倉庫に施錠して保管する。火気厳禁。盗難・紛失の際は警察に届ける。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置を設ける。取扱い作業場の近くに洗顔、洗面、うがい、安全なシャワー等の設備を設置する。

個人保護具 : 状況に応じた適切な保護具を着用する。  
保護メガネ、ゴーグル、保護面、保護マスク、保護衣（不透水性の長袖、長ズボン）、エプロン、ゴム手袋（耐油性）など。

## 9. 物理的および化学的性質

物理的状态

外 観 : 赤色可乳化油状液体

比 重 : 1.15

p H(1%) : 3.6

引火点 : 12.5℃

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点 : 83~84℃

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の使用条件下では安定。

危険な反応 : 知られていない。

危険な分解物 : 燃焼すると有害なガス (HCl、CO 等) が発生する可能性がある。

## 11. 有害性情報

急性毒性 : 経口毒性 ラット♂ LD<sub>50</sub> 940mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> 750mg/kg  
マウス♂ LD<sub>50</sub> 1,100mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> 1,100mg/kg  
: 経皮毒性 ラット♂ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg  
マウス♂ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg ♀ LD<sub>50</sub> >5,000mg/kg

局所効果 : 皮膚刺激性 ウサギ 軽微な刺激性。500倍希釈液は刺激性なし。

眼刺激性 ウサギ 刺激性あり。500倍希釈液は刺激性なし。

感作性 : モルモット 軽~中程度の感作性あり。

生殖毒性 : 区分1Bの物質 (メタノール) を34.0%含むため、混合物として区分1Bに分類される。

標的臓器/全身毒性 (単回暴露) :

区分1 (中枢神経系、視覚器、全身毒性)、区分3 (気道刺激性、麻酔作用) の物質 (メタノール) を34.0%含むため、混合物として区分1、3に分類される。

標的臓器/全身毒性 (反復暴露) :

区分1 (中枢神経系、視覚器) の物質 (メタノール) を34.0%含むため、混合物として区分1に分類される。

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水産動植物に対する影響	: コイ	LC <sub>50</sub>	>101mg/L (96 時間)
	オオミジンコ	EC <sub>50</sub>	0.00036mg/L (48 時間)
	藻類	EbC <sub>50</sub>	20mg/L (0-72 時間)

### 1 3. 廃棄上の注意

法、条例に従って安全に処理する。または廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。  
空容器は、内容物を使い切った後、3回以上洗浄し適切に処理する。洗浄液は河川、下水等水系に流さないようにする。農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。

### 1 4. 輸送上の注意

国連分類 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

: 容器に異常の無いことを確かめ、転倒、落下しないように積載する。包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

### 1 5. 適用法令

農薬取締法 : 第 3233 号

毒物及び劇物取締法 : 劇物 74 (医薬用外劇物)

危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 引火性液体 クラス 3.2

消防法 : 危険物第四類第 1 石油類 (水溶性液体)

労働安全衛生法 : 施行令別表 1 危険物 (引火性の物)

: 表示対象物 (メタノール)

: 通知対象物 (メタノール、ヘキシレングリコール)

化学物質管理促進法 : DEP 第 1 種指定化学物質 政令番号第 225

ポリオキシエチレンニルフェニルエーテル 第 1 種指定化学物質 政令番号第 410

### 1 6. その他の情報

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

中毒の緊急問い合わせ先 : 財団法人 日本中毒情報センター

中毒 1 1 0 番

一般市民専用電話  
(通話料のみ相談者負担)

医療機関専用有料電話  
(一件につき 2,000 円)

大 阪 (365 日、24 時間対応)

072-727-2499

072-726-9923

つくば (365 日、9 時~21 時対応)

029-852-9999

029-851-9999